

新・上越観光マップ

京都を中心とする文化は越前、越中、越後に伝わった。そして越後の中心上越は、北陸地方の政治・経済・文化の中心的役割を担っていた。花ヶ前さんの講演でも「本来県都は上越にあるべきだった」と言われている。

上越は、観光資源の宝庫であるといっても過言ではないくらい史跡があり、歴史を動かした人物が居た。今回は、合併で新しく入ってきた地域を中心に観光見どころを手元の資料で整理してみた。



直江津から車で三十分、国道二五三号の分岐点にキューピットパレイイの案内板がある。安塚は、雪国の自然が最もマッチした所かも知れない。「雪と人と自然が調和する公園の町」がキャッチフレーズである。都会では見つからなかった自分の居場所がここならきっと見つかるに違いない。そして、何といっても温泉である。ゆつたりできる癒しの宿が待っている。

肌が雪のように美しくなるという…
その名も「ゆきだるま温泉」



【雪の湯】キューピットパレイイエリアの雪だるま温泉「雪の湯」。妻ヶ岳山麓に湧出する天然温泉を引き、泉質はナトリウム・カルシウム塩化物泉。100人が入浴可能という県内最大級の浴室のほか露天風呂、サウナが備わっています。なにより、浴槽の窓から正面に望む妻ヶ岳の雄大な眺望が、リラクゼーション効果絶大。館内には食堂や売店、ゲームコーナーもあり、家族で1日ゆっくり過ごせます。

安塚区須川 4820
TEL 025-593-2241 FAX 025-593-2745
<http://www.yukidaruma-kogen.com>

キューピットビレッジ

cupid village

夢をはぐくむおしゃれなコテージ



久比岐野

kubikino

楽しい仲間と語らいが弾む



田舎屋

inakaya

人と自然の交流拠点



清流と山菜の郷のリフレッシュゾーンです。和室、洋室を選べ、総檜づくりのお風呂がヒーリング効果抜群。多目的ホール、コミュニティホール、写真暗室、草木染室などの設備も充実し、山里体験の拠点に格好のロケーションです。社交ダンス、コーラス合宿向けのホールも完備。収容人員40名・8室(和5、洋3)
住所:安塚区朴ノ木418-2

TEL 025-592-2300 FAX 025-592-2308
URL <http://www.yukidaruma.or.jp/town/syukuhaku/inakaya.html>

上越市（直江津）から国道二五三号で約三十分、かつては、東頸城へのアクセス拠点であった所にほくほく線浦川原駅がある。更に行くと虫川の交差点にさしかかる。この近くにある千年杉と呼ばれる「虫川の大杉」は、一見に値する。

みどころ



ゆあみ
湯ヶ淵温泉

古くから地元の人達に愛されてきた湯ヶ淵温泉。緑に囲まれた温泉施設「ゆあみ」は、しっかりと落ち着きのあるたたずまいです。大浴場、サウナ、レストラン、売店、楽しいアスレチック広場など設備も充実しました。

- うらがわら駅下車 バス10分
- 虫川大杉駅下車 タクシー5分



泉質は単純硫黄冷鉱泉で、特に慢性皮膚病、婦人病、きりきり、糖尿病などに効果があります。肌がすべすべになります。
※無料の備え付けタオルをご利用ください。



のんびり、ゆったり、うらがわら紀行

虫川の大杉

通称「千年杉」と呼ばれるこの大杉は、1200年と推定される樹齢の持ち主。高さ30メートル、樹張り最大25メートル、目通り（周囲）10.6メートル。堂々とそびえ立つその大杉は国の天然記念物に指定されています。

- 虫川大杉駅下車 徒歩5分



顕聖寺

応仁の乱の始まった1467年に開山した曹洞宗のお寺。閑寂な境内はかつて竜神の棲む池という伝説が残っています。樹齢数百年の杉の木立に囲まれて、今なお神秘的な趣をたたえています。

- うらがわら駅下車 徒歩5分



木の里



「木を愛し、木から学ぶ」をテーマにした、木工芸が中心の自然体験ゾーン。天然木加工とホームハウスの工房、展示室のほか、各種木工芸のセミナー教室なども開かれています。

- うらがわら駅下車 タクシー5分

直江津から国道二五三号を蒲川原を通り更に行くくと大島地区に出る。隣は松之山、松代であり、ここは合併で十日町市となったことから、上越市と十日町市が隣接することになった。大島地区は上越市の最も東に位置することになる。見どころは多い。高蒲高原は「日本のチロル」と言われるだけあって、見事な眺めである。食・遊・学と色々な楽しみがあるようだ。



●山菜・せのご加工品



●まいたけ



●米こがね



●酒造「雪の舞」



●日本一のトコロラン



●じねんじょ



●あびつる織工



●花苗



●手ねり鉢

厳しくも美しい環境と豊潤な大地に育まれた大島村には、豊かな自然の恵みがいっぱい。新鮮な山の幸をはじめ、深い雪の中で仕込まれた芳醇な地酒、風味豊かなそばなどは、懐かしい故郷の味を伝えてくれる。また、丹念な手作業で心を込めて仕上げられた工芸品も自慢のひとつ。素朴な懐かしさとぬくもりに心温まる。

イベント Calendar



鳥追い

- 1 ●鳥追い(1月14日)
- 2 ●さいの神(1月15日)
- 3 ●雪ぼたるロード(2月下旬)
- 4 ●高蒲高原開き(4月下旬)
- 5 ●秋葉山ちょうちん行列(4月29日)
- 6 ●高蒲高原山菜まつり(6月第1日曜)
- 7 ●小海池湖水まつり(6月第1日曜)
- 8 ●雪まつり(6月下旬~7月上旬)

- 7 ●はたるコンサート(7月第1土曜)
- 8 ●高蒲高原あやま祭り(7月中旬)
- 9 ●おしま夏まつり(7月最終土・日)
- 10 ●高蒲高原夏まつり(8月中旬)
- 11 ●おしま夏まつり
- 12 ●高蒲高原そばまつり(10月最終日曜)
- 13 ●農業祭(11月3日)
- 14 ●きよこの夜の里コンサート(12月中旬)
- 15 ●きよこの夜の里コンサート

高田から国道四〇五号を東へ走り、岩の原葡萄園を過ぎると、牧区に入る。宮口古墳群に隣接して歴史民俗資料館がある。また、新潟県の名水の一つに選ばれている弘法清水がある。弘法大師が親切だった老婆にお礼に独鈷で地を突いて水を湧き出させたといわれている。牧地区は食べ物豊富でスローフードを楽しめる。何故かキムチも多い。

湯の里 深山荘

泊まる



緑豊かな自然に囲まれた村内唯一の温泉宿泊施設。かあちゃんたちが笑顔でお迎えます。ごゆっくりお過ごし下さい。

新潟県東頸城郡牧村宇津俣285番地
TEL.025-533-6785 FAX.0255-533-5356

ふるさと村自然と憩の森 憩う



大自然と懐かしいふるさとの味を満喫しませんか。ぜひ、足をはこんでお出かけ下さい。

新潟県東頸城郡牧村池田2番地
TEL.025-533-5603

荒川豆腐店

物産



地元産大豆100%と水にこだわって作る、豆腐・おぼろのなめらかな舌ざわりを、ぜひおためし下さい。おぼろ豆腐は全国どこへでも配送します。

新潟県東頸城郡牧村落田409番地
TEL.025-533-6502

宇津俣生産組合

物産



宇津俣地域限定産「雷太郎大根」は、ブナ林からの清水と高原の空気をたっぷり含んだみずみずしく甘味のある大根です。この大根を使ったジャムも大変ご好評をいただいております。

新潟県東頸城郡牧村宇津俣2631番地1
TEL.025-533-6588

牧村米コシヒカリ研究会

物産



牧峠に群生するブナ林から湧き出る清流と、朝夕の温度差など自然条件が最高の場所で育てられたおいしいコシヒカリです。

新潟県東頸城郡牧村小川1621番地
TEL.025-533-5863

深山の里の会

物産



天水の棚田にて低農薬・有機栽培で育て上げた良質な五百万石を原料米とし、仕込水は伝説の名水「弘法清水」を使用しています。芳醇な味わいをぜひ、ご賞味下さい。

新潟県東頸城郡牧村高尾1110番地
TEL.025-533-6332

五、柿崎区

地名の由来となった柿崎景家は戦国時代に活躍した武将で、上杉謙信の配下であり、謙信より二十歳ほど年上だが、主君をもり立て、越後各地で戦って越後平定に尽力し、謙信を守って上洛にも参加している。有名な川中島での合戦では武田軍と数度戦って敵を恐れさせた。

柿崎と言えば米山が有名だが、特産品も多い。



お菓子



頸城酒造



代々菊醸造

六、大潟区

直江津の北側に隣接する大潟区は、石油採掘中に出てきた鶴の浜温泉や「夏は来ぬ」や「漁業の歌」で知られる音楽家小山作之助の出身地として知られている。古くから作り酒屋も多く、特産品も豊富である。



じゅんさい



いちじく羊かん

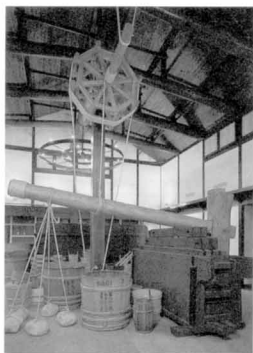


●鶴の浜温泉

昭和33年（株）帝国石油の資源開発により、噴出した温泉です。泉質はナトリウム塩化物泉、弱アルカリ性で、お肌がすべすべになります。

七・頸城区

国道二五三号の海側に位置する頸城区は、広大な自然の恩恵を受けた豊かな地域である。大池県立公園やキャンプ場、日本自然学習実践センターがある。また、「酒の博士」として知られる坂口謹一郎博士の遺品や業績を展示した坂口記念館がある。



八・吉川区

吉川区は、新潟県上越市の北東部に位置し、東は柏崎市、南は上越市大島区と上越市蒲川原区に、西は上越市頸城区と上越市大潟区に、北は上越市柿崎区に接している。北及び西にかけて平坦地が続き、東及び南側は山地が形成されており、中でも最も高い尾神岳（標高七五七メートル）より源を発する吉川、平等寺川、大出口川の三つの主要二級河川が流れ、地帯の水源をなしている。

また、標高七五七メートルの尾神岳はパラグライダーのメッカであり自然景観に恵まれており、人々の憩いの場として賑わっている。

吉川は、越後杜氏の郷として有名であり、我が国唯一の高等学校醸造科があったが残念なことに昨年廃止になった。



●清酒「よれわの郷」
「よれわの郷」は、吉川町の「よれわの郷」醸造所が、酒造りに取り組んでいる。この酒は、吉川町の「よれわの郷」醸造所が、酒造りに取り組んでいる。

九. 中郷区

新井の南側に位置する中郷区は上越市を象の頭に見ると象の鼻にあたる所に位置する。豊かな田園が拡がり、昔から殿様の米蔵として良質のこしひかりを生産している。縄文時代の遺跡の密集地でもある。今から一万年前の出土品がある。



龍峰遺跡出土土製品



龍峰遺跡出土石製品



■時空のひろば



■祭祀のひろば



■誘いのひろば

十. 板倉区

上越市の東南端にあり、長野県と隣接している板倉区は、高原と田園が一带となったのどかな自然とふれあうことのできるエリアである。

標高一、一〇〇メートルに位置する光ヶ原高原は、頸城平野を眼下に日本海から佐渡・能登を眺望できる絶好の景勝地である。そこには、何故か日本中を震撼させた連合赤軍あさま山荘事件で使われた重さ一トンの鉄球がモニュメントとして置いてある。また、千数百年前に山岳仏教で栄えた山寺薬師や延命清水などがある。



十一・清里区

牧区と板倉区の間にはさまれた清里は、小学校の頃、遠足で行った坊ヶ池が良く知られている。近くには学問の神様「菅原道真」ゆかりの菅原神社や大正九年に遠い宇宙の果てから落ちて来た隕石を展示した「星のふる里館」がある。



十二、三和区

上越市(高田)の東に隣接する三和区は「米」と「酒」、それを育む豊かな自然が売物である。良く知られる雪中梅や青木の味噌など醸造文化の宝庫でもある。



写真上
米と酒の店舗外観



写真上
味の店舗外観

写真右
人気の試飲コーナー



写真下
店内

十三、名立区

直江津から五智―谷浜―有間川と海岸伝いに西へ行くと名立海岸に出る。海岸と後ろに迫る山の間の名立の町がある。

名立漁港に隣接した「うみてらす名立」は宿泊施設「光鱗」、特産物を販売している「海の楽市」、健康交流館「ゆらら」等、レストランを併用した総合レジャー施設である。また、名立駅から山の方へ入ると越後三十三ヶ所観音霊場の第一番札所の岩尾堂観音堂が神秘的なたたずまいで静けさの中に立っている。名立には山海の珍味をはじめ多くの特産品があるが、珍しいものに艾（もぐさ）があり、生産品は世界一だとか。



水揚げされた甘エビ

「うみてらす名立」

●海の楽市

名立漁港で水揚げされた新鮮な魚介類や海産物を販売しています。